第31期 中間報告書

2011.2.21～2011.8.20

瀋陽故宮博物院の大政殿（中国）

中国遼寧省瀋陽市に現地法人を設立いたしました

サンデー・アグリッシュカード

コスモ・ザ・カード・オーパス
（WAON一体型）

イオンクレジットサービス株式会社

証券コード:8570

株主の皆さまへ

代表取締役兼社長執行役員　**神谷 和秀**

事業構造の転換を加速させ、新たな収益源の拡大に努めてまいります。

CONTENTS

株主の皆さまへ 1
国内事業1 3
国内事業2 5
海外事業 7
CSRの取り組み 9
連結財務諸表の概要 11
会社データ 13

株主の皆さまには、第31期中間報告書をお届けするにあたり、日ごろのご支援、ご鞭撻に心より厚く御礼申し上げます。

当中間期の業績

当中間期は、東日本大震災後、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、欧州の財政問題および米国の景気不安に加え、為替や株価の急激な変動等、国内外ともに景気下振れリスクが強まり、企業経営にとって先行きが不透明な状況となりました。

また、クレジット業界においては、情報通信技術の進展を背景とした新たな決済サービスへの対応や、インターネット・携帯電話会社をはじめとする他業種からの新規参入等、市場競争は激化しております。

このような中、当社では事業構造の転換を加速させるため、国内では電子マネー事業、銀行代理業等フィービジネスの推進、海外ではクレジット事業の強化および新たな国への展開を推進いたしました。

当中間期の連結業績につきましては、国内外で会員募集を強化したことにより、連結の有効会員数は期首より81万人純増の2,888万人、カードショッピング取扱高は1兆3,726億55百万円(前年同期比111.2%)と順調に推移いたしました。取扱高合計においては、1兆6,233億58百万円(同103.1%)、営業収益は816億33百万円(同98.9%)となりました。なお、円高の影響を除いた営業収益の前年同期比は、約101%となります。営業費用はローコストオペレーションの徹底に加え、貸倒関連費用の改善等により、714億2百万円(同96.4%)となりました。

その結果、営業利益は102億31百万円(同120.2%)、経常利益は103億15百万円(同120.2%)と増益を達成することができました。なお、第1四半期連結会計期間に、東日本大震災の影響を考慮した貸倒引当金の積み増しおよび資産除去債務の適用に伴う影響額33億54百万円を特別損失として計上したことにより、中間純利益は30億47百万円(同79.2%)となりました。

なお、当中間期の配当金は、15円を実施させていただきます。また、当社は本年会社設立30周年を迎えました。これもひとえに株主の皆さまのご支援の賜物と心から感謝申し上げます。株主の皆さまの日頃のご支援に感謝の意を表するため、2011年11月20日を基準日として、1株あたり5円の会社設立30周年記念配当を実施させていただくことを決定いたしました。期末配当金につきましては、従来どおり25円を予想しておりますので、年間配当金は45円となる予定でございます。

当期の見通し

当社では、クレジット事業など主力事業を強化するとともに、事業構造の転換をより一層加速させるため、電子マネー事業、銀行代理業等フィービジネスの推進、海外事業の拡大に取り組んでおります。また、ローコストオペレーションの徹底により、経営体質の強化を図り、業績目標の達成を目指してまいります。

今後も、役職員一丸となり、株主の皆さまのご期待に沿えるよう努めてまいりますので、変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2011年10月

第31期 中間連結決算ハイライト (単位:億円)

	当中間期	前年同期比
取扱高	16,233	103%
営業収益	816	99%
営業利益	102	120%
経常利益	103	120%
中間純利益	30	79%

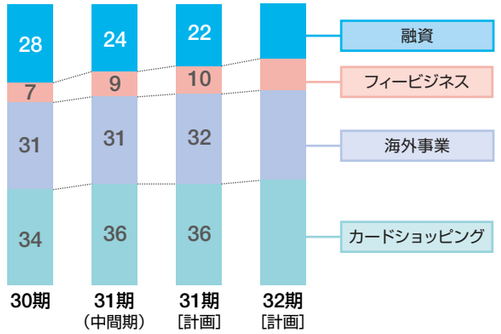
第31期 中間単独決算ハイライト (単位:億円)

	当中間期	前年同期比
取扱高	14,742	104%
営業収益	555	100%
営業利益	50	134%
経常利益	59	125%
中間純利益	16	60%

配当金の状況

	第30期	第31期
第2四半期末配当金	15円	15円
第3四半期末配当金	―	5円(予想)
期末配当金	25円	25円(予想)
年間配当金合計	40円	45円(予想)

セグメント別営業収益構成比 (%)



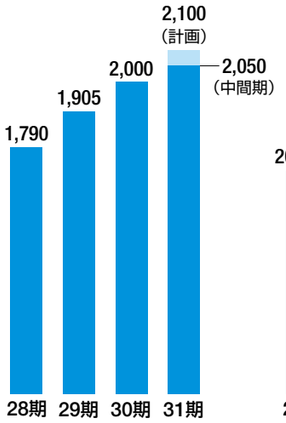
※営業収益には連結消去額を含む

カード募集カウンター

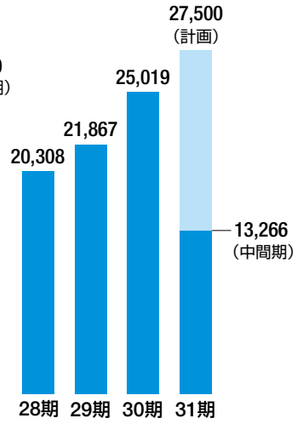
クレジット事業の競争力強化

会員特典の強化および
会員募集を推進することで、
クレジット事業の競争力を
強化しております。

国内有効会員数
（万人）



国内カードショッピング取扱高
（億円）



■ イオンカードセレクトの発行推進

インターネットおよびインストアブランチを中心に、クレジットカード、キャッシュカード、電子マネーの機能・特典が一体となった「イオンカードセレクト」の会員募集を継続して強化した結果、イオンカードセレクト会員数は期首より22万人純増の131万人となりました。

イオンカードセレクト　検索

■ 新たな顧客層の開拓

「コスモ・ザ・カード・オーパス」、「イオン首都高カード」等、提携カードの会員募集を強化いたしました。提携カードは、男性層、都市部のお客さまにご支持いただいております。今後も、東日本高速道路株式会社との提携カード発行を予定するなど、新たな顧客層の開拓に向けて取り組んでまいります。

コスモ・ザ・カード・オーパス

イオン首都高カード

■ 加盟店開発の強化

クレジットカードに加え、銀聯の加盟店開発を強化いたしました。今後も空港・駅内商業施設、高速道路のサービスエリア等を中心に開発を進め、当社加盟店の拡大によるお客さまの利便性向上に継続して取り組んでまいります。

銀聯加盟店の開発

■ 取扱高拡大に向けた取り組み

提携先との「がんばろう日本！復興応援特別セール」や、ときめきポイントキャンペーンの実施に取り組んだ結果、稼働会員数は期首より36万人純増の1,229万人、カードショッピング取扱高は1兆3,266億47百万円（前年同期比111.2%）と順調に拡大いたしました。

カードキャッシング取扱高は、融資ニーズの低下および与信の厳格化により786億24百万円（同48.0%）となりましたが、総量規制の影響が一巡したことにより、回復基調に転じております。

がんばろう日本！復興応援特別セール

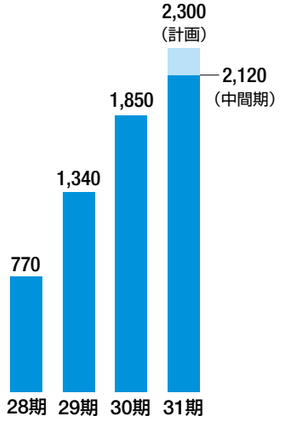
ショッピングセンターでのカード利用

WAON

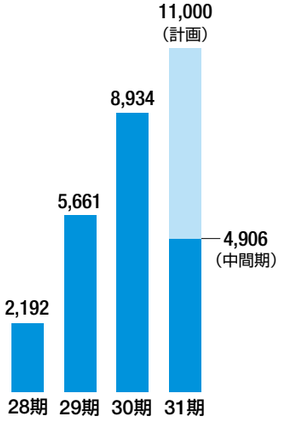
フィービジネスの推進

電子マネー事業、銀行代理業、
ネット事業など、
フィービジネスの推進に
取り組んでおります。

WAON発行枚数
（万枚）



電子マネー総取扱高
（億円）



■ 電子マネーWAONの推進

地域マネーとしての展開を推進するため、加盟店開発を強化するとともに、メーカー協賛によるボーナスポイントのご提供等、WAONの利用促進策に継続して取り組みました。また、「イオンカード」や「コスモ・ザ・カード・オーパス」への標準搭載等、WAON一体型カードの発行を強化いたしました。

WAON ボーナスポイント

■ 銀行代理業の拡大

インストアブランチを累計63店舗（直営店含め76店舗）に拡大するとともに、イオン銀行住宅ローンをご利用のお客さまにイオンでのお買い物が常時5%割引になる「イオンセレクトクラブ」の告知強化を図ることにより、住宅ローンの取次ぎを拡大させることができました。

総合金融ショップ

さらに、ショッピングセンターや、コンビニエンスストアへイオン銀行ATMを積極的に設置するとともに、毎月5・15・25日にイオン銀行ATMのご利用でクーポン券を進呈する「イオン銀行お客さまわくわくデー」等ご利用キャンペーンを実施し、ATMの稼動向上に取り組みました。

イオン銀行 ATM

■ ネット事業の強化

昨年10月に開設したイオンフィナンシャルサービス「暮らしのマネーサイト」において、ときめきポイントの獲得内訳およびポイント交換履歴の照会を追加するなど、機能拡張に取り組むとともに、銀行、保険、WAON等、金融サービスの告知強化を図ることにより、各社サイトへの送客に努めました。

暮らしのマネーサイト　検索

■ 国内子会社の取り組み

エー・シー・エス債権管理回収株式会社では、公共料金等の集金代行業務の拡大に継続して取り組みました。イオン少額短期保険株式会社では、医療保険、家財保険の販売を強化するとともに、新たにグループのランドセル売場と連携した傷害保険の販売を開始いたしました。

エー・シー・エス債権管理回収株式会社

香港　コーンヒル支店

海外事業の拡大

クレジット事業の強化、
新たな国への展開を推進し、
海外事業のさらなる拡大に
努めております。

■ 中国・香港

香港では、提携先企業の新規出店に伴うカード会員募集や、カード即時発行サービスの取り扱い拠点を拡大するなど、新規カード会員の獲得に注力し、クレジット事業の強化に取り組みました。また、全国の営業拠点を活用した保険販売の推進等、クレジット周辺事業の業容拡大に継続して取り組むとともに、ローコストオペレーション等、経費削減に徹底して努めた結果、営業収益は5億79百万香港ドル(前年同期比100.8%)、営業利益は1億62百万香港ドル(同113.6%)となりました。

中国では、深圳、広州でのコールセンター、債権回収業務等の事務代行事業のさらなる強化に取り組みました。

また、遼寧省瀋陽市に現地法人を設立いたしました。家電・家具等の耐久消費財向け分割払いサービスを開始することにより、当地におけるクレジットニーズへの対応および中国でのさらなる事業拡大に取り組んでまいります。

深圳 コールセンター

■ タイ

提携先企業での会員募集の強化に継続して取り組むとともに、提携先との共同売上企画を積極的に推進いたしました。また、クレジット周辺事業の業容拡大に取り組んだ結果、営業収益は55億71百万バーツ(前年同期比105.6%)、営業利益は7億73百万バーツ(同121.7%)となりました。

タイ パタナカン支店

■ 台湾

現地ショッピングセンターをはじめとする提携先企業での会員募集を強化するとともに、提携先でのカード利用促進策を継続して実施した結果、営業収益は1億29百万台湾ドル(前年同期比115.2%)、営業利益は16百万台湾ドル(同112.6%)となりました。

提携先でのカード会員募集

■ マレーシア

現地イオン店舗での会員募集強化に加え、提携先での売上企画の実施や優待加盟店の開発により、カードショッピング取扱高が順調に拡大した結果、営業収益は1億72百万リンギット(前年同期比127.6%)、営業利益は57百万リンギット(同153.4%)と順調に拡大することができました。

マレーシア ブキットインダ支店

■ 新たな地域への展開

インドネシア、ベトナムでは、家電量販店をはじめとした加盟店開発を推進し、さらなる営業ネットワークの拡充に取り組むなど、ハイヤーパーチェス取扱高の拡大に努めました。

また、フィリピンでは、システム開発の業務受託を継続して強化いたしました。

インドネシア クレジットカウンター

インドネシア ジャカルタ植樹

環境保全・社会貢献活動の推進

環境保全・社会貢献活動を
積極的に推進し、よき企業市民として
地域社会の発展に貢献してまいります。

■ 環境保全活動

「山形県南陽市」、「北海道支笏湖」、「インドネシアジャカルタ」にて植樹活動を実施するとともに、郵送でお送りしておりますご利用明細書をインターネットで閲覧いただける「Web明細(環境宣言)」の登録を推進し、CO_2の削減に努めました。

Web明細(環境宣言)

■ 地域社会への貢献活動

当社は、地域の皆さまとともに社会貢献活動を実施しております。全国の社会福祉施設でのボランティア活動に加え、千葉県青少年協会「お米づくり」を支援し、地域の子供たちとともに田植えによる交流活動を行いました。

千葉県青少年協会「お米づくり」

■ 東日本大震災の支援活動

東日本大震災の支援活動として、被災地域への臨時クレジット相談カウンターや専用フリーダイヤルの設置、無利息および特別金利ローンのご提供等、被災された皆さまのお役に立てるよう取り組んでまいりました。

また、ホームページ等でのお客さまからの募金受付や、従業員による募金活動の実施、被災地でのボランティア活動に継続して取り組みました。カードショッピング・WAONご利用金額の0.1%(48百万円)を日本赤十字社へ、また、第10回無担保社債(がんばろう日本!応援社債)200億円の調達資金0.1%相当額(4年分、80百万円)を特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームへ寄付いたしました。

さらに、東日本大震災に伴う節電対応として、全国の事業所において、照明・空調の電力削減管理の徹底を行うとともに、サマータイムや事務センターの休業日導入を実施し、電力使用量の削減に努めました。

がんばろう日本！応援社債　寄付贈呈式

■ 海外子会社の取り組み

● 香港　イオンクレジットサービス(アジア)

現地従業員によるボランティア活動や植樹活動を継続して実施いたしました。また、ホームページからのオンライン募金や支店への募金箱設置など、事業活動を通じた社会貢献活動に積極的に取り組んでおります。

従業員による植樹活動[香港植樹日]

● タイ　イオンタナシンサップ(タイランド)

タイ国の教育支援や地域福祉の向上を目的に、小中学校や社会福祉施設への寄付活動を継続的に実施いたしました。また、タイ赤十字社が実施する献血活動に現地従業員が積極的に参加いたしました。

社会福祉施設への寄付活動

連結財務諸表の概要

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前期 2011年2月20日現在	当中間期 2011年8月20日現在	増減
【資産の部】			
流動資産	750,561	770,536	19,975
現金及び預金	30,902	31,159	257
割賦売掛金	384,261	416,434	32,173
営業貸付金	293,427	276,239	△17,188
その他	94,297	98,967	4,670
貸倒引当金	△52,327	△52,264	62
固定資産	150,936	155,148	4,212
有形固定資産	12,848	14,336	1,488
無形固定資産	14,957	16,552	1,594
投資その他の資産	123,130	124,259	1,129
繰延資産	80	160	79
資産合計	901,578	925,845	24,266

	前期 2011年2月20日現在	当中間期 2011年8月20日現在	増減
【負債の部】			
流動負債	336,788	366,456	29,668
短期借入金	5,586	5,366	△220
1年内返済予定の長期借入金※	129,712	112,810	△16,902
1年内償還予定の社債	14,507	45,374	30,867
その他	186,982	202,905	15,923
固定負債	384,590	383,875	△714
社債	81,885	61,649	△20,236
長期借入金※	280,574	302,965	22,390
利息返還損失引当金	16,017	12,516	△3,500
その他	6,113	6,744	631
負債合計	721,378	750,332	28,953
【純資産の部】			
株主資本	164,978	164,104	△873
資本金	15,466	15,466	—
資本剰余金	17,046	17,046	—
利益剰余金	132,652	131,779	△873
自己株式	△187	△188	△1
評価・換算差額等	△5,745	△8,356	△2,611
新株予約権	—	12	12
少数株主持分	20,967	19,752	△1,214
純資産合計	180,199	175,513	△4,686
負債純資産合計	901,578	925,845	24,266

※債権流動化借入金含む

連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間期 2010年2月21日から2010年8月20日まで	当中間期 2011年2月21日から2011年8月20日まで	前年同期比（%）
営業収益	82,568	81,633	98.9
包括信用購入あっせん収益	30,637	33,994	111.0
個別信用購入あっせん収益	4,194	3,938	93.9
融資収益	37,424	33,057	88.3
業務代行収益	3,129	3,575	114.2
償却債権取立益	1,463	1,404	96.0
その他	5,682	5,642	99.3
金融収益	36	20	56.1
営業費用	74,058	71,402	96.4
営業利益	8,509	10,231	120.2
営業外収益	201	181	90.1
営業外費用	130	97	74.6
経常利益	8,580	10,315	120.2
特別損失	—	3,354	—
税金等調整前中間純利益	8,580	6,960	81.1
法人税等合計	3,173	2,219	69.9
少数株主損益調整前中間純利益	—	4,740	—
少数株主利益	1,560	1,692	108.5
中間純利益	3,846	3,047	79.2

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間期 2010年2月21日から2010年8月20日まで	当中間期 2011年2月21日から2011年8月20日まで	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△151	△8,957	△8,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,183	△6,951	△768
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,297	16,949	9,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	△458	△634	△176
現金及び現金同等物の増加額	504	406	△98
現金及び現金同等物の期首残高	23,012	29,666	6,654
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,516	30,073	6,556

IR説明会の実施

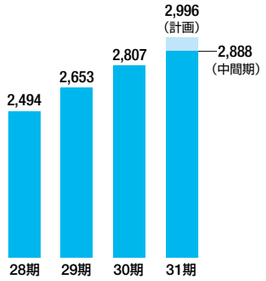
多くの投資家さまに当社をご理解いただくため、
投資家さま向けIR説明会を実施しております。

当社では中間期および本決算期に、投資家さま向けIR説明会を実施しております。説明会では業績概要や今後の重点実施事項等についてご説明させていただいております。今後も引き続き、投資家の皆さまへの情報開示に力を入れてまいります。

IR説明会の内容は、
当社サイト［株主・投資家情報］にて視聴いただけます（P14参照）。

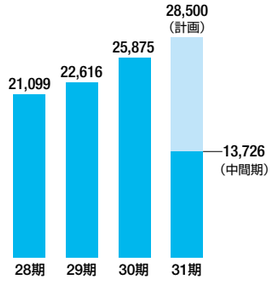
連結有効会員数

（万人）



連結カードショッピング取扱高

（億円）



連結営業収益セグメント情報

部　門	実績（百万円）	前年同期比（%）
クレジット	48,266	95.6
フィービジネス	8,254	104.7
海外	25,693	（約110）※
調整額	△579	—
合計	81,633	（約101）※

クレジット …… クレジットカード等の国内におけるクレジット事業
フィービジネス … 電子マネー、銀行代理業務等の国内における各種ビジネス
海外 …… 国外における金融サービス事業等

※（　）は円高の影響を考慮した営業収益の前年同期比を記載しております。

会社データ

会社概要

（2011年8月20日現在）

商号	イオンクレジットサービス株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 （証券コード:8570）
本店	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
電話番号	（03）5281-2030（代表）
URL	http://www.aeon.co.jp/
設立	1981年6月20日
資本金	154億6,650万円

取締役・監査役・執行役員

（2011年8月20日現在）

代表取締役 兼社長執行役員	神谷　和秀
取締役兼専務執行役員	黒田　成人
取締役兼専務執行役員	水野　雅夫
取締役兼常務執行役員	清永　崇司
取締役兼常務執行役員	若林　秀樹
取締役兼常務執行役員	小坂　昌範
取締役相談役	森　美樹
常勤監査役	谷内　寿照
監査役	杉原　弘泰
監査役	山浦　耕志
監査役	西松　正人
執行役員	斉藤　達也
執行役員	山田　義隆
執行役員	池西　孝年
執行役員	玉井　貢
執行役員	伊藤　秀行
執行役員	遠藤　千春
執行役員	中川　伸一
執行役員	桜庭　博文

監査役は全員、会社法に定める社外監査役であります。

株式の状況

（2011年8月20日現在）

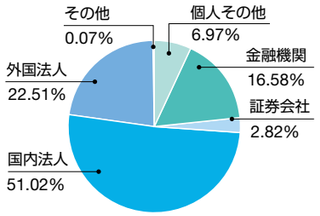
発行可能株式総数	540,000,000 株
発行済株式総数	156,967,008 株
株主数	14,572 名

大株主

（2011年8月20日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
イオン株式会社	71,576	45.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	7,704	4.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	5,128	3.26
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	3,713	2.36
ドイツ証券株式会社	3,486	2.22
マックスバリュ西日本株式会社	2,646	1.68
ミニストップ株式会社	2,290	1.45
野村信託銀行株式会社（投信口）	2,156	1.37
株式会社コックス	1,439	0.91
ノーザン トラスト カンパニー（エイブイエフシー）サブ アカウント アメリカン クライアント	1,413	0.90

所有者別株式数の構成比



株主メモ

決算期	2月20日
基準日	定時株主総会基準日　2月20日 期末配当基準日　2月20日 中間配当基準日　8月20日
定時株主総会	5月20日までに実施
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（http://www.aeon.co.jp/） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載することといたします。

株主の皆さまへの情報開示に努めております

過去5年間の業績／月次情報
過去5年間の業績および月次情報を確認いただけます。

IR News／IR最新資料
最新のニュースおよびIR資料をチェックできます。

よくわかるイオンクレジットサービス
個人投資家さま向けに当社の概要をまとめました。

音声配信
直近の決算説明会の模様を配信しています。

URL http://www.aeoncredit.co.jp/aeon/ir/

イオンクレジットサービス株式会社

木を植えています
私たちはイオンです

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC™ C017928
www.fsc.org

Vegetable oil INK
for waterless printing
Non VOC INK Version 2